

体育科学習指導略案

2年2組 29名 指導者 濱田 博史

本授業では、以下の検証を行うものである。

- 運動場面のイラストと「見える図」等を組み合わせた「コツ図」や「コツ板」は、子どもがボールの投げ方や捕り方、攻め方を自分なりに工夫するための手立てとして有効であったか。
- 子どもの思考を促し、考えをつなぐ働き掛けは、協働的な「学び合い」が充実し、子どもが動きのコツに気付いて技能を高めるための手立てとして有効であったか。

1 単元 攻め方を工夫してポイントゲット「ボール投げゲーム」

2 指導計画 (総時数10時間)

過程	主な学習活動【評価規準】	時数																																																
一 次	1 オリエンテーション <ul style="list-style-type: none"> ・ ボール投げゲームのきまりを知る。(ルール・審判の仕方・見学の仕方) ・ 投げる, 捕るなどの動きについて想起する。 ・ ボール投げゲームを試しに行う。 ・ ボール投げゲームの目標や学習計画を知る。 ・ 自分なりのめあてをもつ。 【態：進んで運動に取り組み、肯定的な雰囲気の中でルールやマナーを守って助け合いながら練習やゲームをしたり, 場や用具の安全に気を配ったりしようとしている。】 2 投げる, 捕るなどの技能の習得学習	3																																																
二 次	3 学習の進め方を確認し, 運動に取り組む <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8 (本時)</td> </tr> <tr> <td colspan="6">挑 戦 す る</td> </tr> <tr> <td colspan="6">【めあての確認】一人一人やグループの課題に応じためあてを立てる。</td> </tr> <tr> <td colspan="6">【スキルタイム】紙鉄砲・ボール投げ上げ・的当て・キャッチボール</td> </tr> <tr> <td colspan="6">【ゲーム1】攻守が交代するゲーム (審判含む)</td> </tr> <tr> <td colspan="6">【作戦タイム】</td> </tr> <tr> <td colspan="6">【ゲーム2】攻守が交代するゲーム (審判含む)</td> </tr> <tr> <td colspan="6">【振り返り】(個人・グループ→全体)</td> </tr> </table> (ねらい1) 簡単なルールを考えたり, 場を工夫したりしてゲームを楽しむ。 (ねらい2) いろいろな攻め方を工夫し, 攻守を交代するゲームを楽しむ。 【思・判：ボール投げゲームの行い方を知り, ボールの投げ方や移動を生かしたいろいろな攻め方を考えている。】	3	4	5	6	7	8 (本時)	挑 戦 す る						【めあての確認】一人一人やグループの課題に応じためあてを立てる。						【スキルタイム】紙鉄砲・ボール投げ上げ・的当て・キャッチボール						【ゲーム1】攻守が交代するゲーム (審判含む)						【作戦タイム】						【ゲーム2】攻守が交代するゲーム (審判含む)						【振り返り】(個人・グループ→全体)						5 (本時)
3	4	5	6	7	8 (本時)																																													
挑 戦 す る																																																		
【めあての確認】一人一人やグループの課題に応じためあてを立てる。																																																		
【スキルタイム】紙鉄砲・ボール投げ上げ・的当て・キャッチボール																																																		
【ゲーム1】攻守が交代するゲーム (審判含む)																																																		
【作戦タイム】																																																		
【ゲーム2】攻守が交代するゲーム (審判含む)																																																		
【振り返り】(個人・グループ→全体)																																																		
三 次	4 ボール投げゲーム大会をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 活動を振り返り, 自分の伸び, チームの練習や作戦でよかった点を考える。 【技：チームで考えたり, 選んだりした攻め方が成功するように, 位置どりやパス, キャッチ, シュートなどのボール操作やボールを受けるための動きを生かしている。】	2																																																

3 本時 (8/10)

(1) 目標

ボールの投げ方や移動を生かしたいろいろな攻め方を考えてボール投げゲームを行うことができる。

(2) 評価規準

一人一人が課題解決のために自分なりの考えをもち, 友達と教え合いながら, チームで攻め方を決め, ゲームに生かしている。 【運動についての思考・判断】

(3) 指導に当たって

本時の学習では, ボール投げゲームの基本的なボール操作を身に付けさせるためにスキルタイムを導入する。スキルタイムでは, 「コツ板」で共有化したコツを確認しながら, ボールを投げたり, 捕ったりする練習を繰り返し行うようにする。ねらいをもとにした活動では, 前時の振り返りやゲーム I から点をたくさん取るための練習方法や攻め方について考えることができるようにする。作戦タイムでは, 一人一人が自分なりの考えをもって参加できるように, 教材を簡易

化し、ゲームにおける複雑な要素を少なくすることで課題解決の視点をもつことができるようにする。一人一人の考えを基にチーム全員で作戦や動き方を話し合い、主体的に活動に取り組むことができるようにする。また、ゲームⅡでは、作戦タイムの成果を試すとともに、全体で子どもの気付きや取組を発表する場を設け、よい動きや作戦の工夫について共有化を図るとともに、適時、教師による働き掛けを行うことで、技能面だけでなく、意欲も向上するようにする。

(4) 本時の展開 重点化するスキル [] 子どもの意識 ○指導の手立て ※評価

経過	時間	主な学習活動	指導の手立て
つかむ・見通す	5	1 本時のねらいを知り、活動のめあてをもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> チームで作戦を工夫して、ボール投げゲームを楽しもう。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ みんなで楽しくゲームをしたいな。 ・ 前の時間は的に当てられなかったから、今日は当ててやるぞ。 </div> 2 準備運動・体ほぐしの運動を行う。	○ 本時の学習のめあてや流れ、活動を確認するために学習黒板を活用し学習の見通しをもつことができるようにする。 ○ 準備運動は体ほぐしの運動を含めて行い、ボール投げゲームに必要な動きを中心に体や心をほぐすことができるようにする。
挑戦する	35	3 スキルタイム <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相手に体をしっかり向けて投げると、ボールがまっすぐ飛ぶぞ。 ・ とってから素早く相手に投げられるようにどんどんパスを回そう。 </div> 4 ねらいをもとにした活動を行う。 (1) 対戦表と審判、ルールの確認をする。 (2) チームで前時で設定した作戦を確認する。 (3) ゲームⅠを行う。 (攻守が交代するゲーム：4対3) (4) ゲームⅠを振り返り、作戦ボードを使ってゲームⅡの打ち合わせをする。 (作戦タイム)「 多面的に見る 」 <ul style="list-style-type: none"> ・ ぼくがおとりになって、ディフェンスを引きつけるからその間にシュートを打ってね。 ・ シュートチャンスを作るために、分かれる合図を大きな声で出そう。 (5) ゲームⅡを行う。 (攻守が交代するゲーム：4対3)	○ ボールの投げ方、捕り方などの運動に必要なコツを「コツ板」にまとめ、体の部位に着目しながら、動きを確認することができるようにする。 ○ スキルタイムでは、ゲームに生かすことができるような基本的なボール操作を取り上げることができるようにする。 ○ ゲームⅠの後に作戦タイムをとり、メンバーの動き方や攻め方の再確認を行うことができるようにする。 ※ 自他の運動経験や作戦ボードなどの具体物を活用しながら、チームの特徴に応じた作戦を考えて運動することができる。(観察) <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ○ チームの特徴に応じた攻め方を考えて、友達と仲良く意欲的に活動や話し合いができている子どもには、称賛して価値付けを行う。 ○ 攻め方を考えることができないチームには、適時、考えをつなぐ教師の働き掛けを行い、子どもの思考を促していけるようにする。 </div>
振り返る	5	5 整理運動、振り返りをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ うまく相手を引きつけてくれたから、シュートが打てたよ。ありがとう。 ・ みんなで同じところに動いてしまって、守りの人に止められてしまった。動く位置を確認しよう。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> チームにあった作戦を立て、ボール投げゲームを楽しむことができた。 </div> 6 片付けをする。	○ 本時の学習を振り返り、自分の動きや協力の視点から、気付いたことや感想を発表できるようにする。 ○ 次時からボール投げゲーム大会を行うことを知らせ、意欲付けを行う。